



文化・芸術研究センター研究成果報告書 | 配分研究費：438千円（令和2年度～令和4年度（2年延長））

静岡県の歴史的建造物の構造性能評価に関する研究

目的・概要

歴史的建造物の修理における耐震診断とそれともなう耐震補強計画の策定には、建築構造学に基づく工学的な知見が活用される。近世以前の建造物では、数値解析のモデル化の困難さと向き合うことになる。本研究は、建築構造学、歴史的建造物の調査、歴史的建造物の履歴に関する文献調査で得られる知見を突き合わせることで、建築構造学と歴史学の2つの観点を併せ持った歴史的建造物の構造性能評価をするための方法論の提案を目指すものである。

期間

令和2年4月1日～令和3年3月31日、令和3年4月～令和5年3月

研究担当者

デザイン学部	デザイン学科	教授	岩崎 敏之（研究代表者）
デザイン学部	デザイン学科	准教授	新妻 淳子
文化政策学部	国際文化学科	教授	西田 かほる

スケジュール

令和2年12月21日
令和3年4月12日
令和3年8月4日
令和3年10月18日
令和3年11月5日
令和4年3月
令和4年6月

久能山東照宮鼓楼の小屋裏調査
静岡浅間神社現地調査
旧田代家住宅現地調査
静岡浅間神社現地調査及び検討会議
鈴木家住宅現地調査
静岡文化芸術大学研究紀要執筆
日本デザイン学会春季大会にて発表

研究成果

歴史的な資料から災害記録を読み取り、修理対象となる歴史的建造物の構造性能の判断材料として活かすための研究成果を静岡文化芸術大学研究紀要 第22巻に著した。

- ① 構造性能評価における災害記録の活用の重要性 - 静岡県の歴史的建造物の構造性能評価に関する研究 その1 -
- ② 静岡浅間神社『御再建場所日記』から見る災害記録1 - 静岡県の歴史的建造物の構造性能評価に関する研究 その2 - 西田 かほる, 新妻 淳子
- ③ 静岡浅間神社『御再建場所日記』から見る災害記録2 - 静岡県の歴史的建造物の構造性能評価に関する研究 その3 - 新妻 淳子, 西田 かほる

同時に、本研究の開始時期から静岡浅間神社の修理計画立案の議論に研究担当者3名が加わり、その修理委員会での数値計算のモデル化を検討にあたって、過去の災害履歴も参考情報として扱う方向性を導くことができた。

3編の紀要の内容を取りまとめて日本デザイン学会で発表した。

歴史的建造物の構造性能評価に災害履歴を考慮する提案 岩崎 敏之, 新妻 淳子, 西田 かほる

日本デザイン学会 第69回春季研究発表大会 6D-03 令和4年6月

当該発表は、工学的な構造性能評価と歴史的資料調査を併せて考察する視点が評価され、日本デザイン学会 第69回春季研究発表大会グッドプレゼンテーション賞を受賞した。



今後の研究成果の還元方法

重要文化財神部神社浅間神社拝殿ほか修理委員会が引き続き開催され、令和5年8月2日には第4回委員会が開催された。修理計画の策定の最終段階にあり、歴史的な記録とも向き合う議論が続いている。この委員会での議論は、歴史的建造物の修理計画のあり方の一つのモデルケースになると想定されている。